

## 2021年度入学式 今年度は2002名が入学

4月1日、35周年記念館アリーナにて2021年度入学式を挙行了。  
会場での密を避けるため、参加は新入生のみとしたほか、式典は学部を指定し午前と午後の2部制とした。当日、新入生はマスクを着用し、学生センター1階で検温および手指の消毒を行うなどの感染予防対策をとった上で参加した。

式典で、山路朝彦学長は「創設者である天野貞祐初代学長は、獨大生を『良き意思を持った人間』『思慮を持つ人間』『豊かな情操を持った人間』『社会に役立つ知識技能を持った人間』、そして『健康な人間』に育てたいと言いました。50年以上も前の言葉ですが、この理想は今も変わりません。獨協大学で学ぶことに誇りと自信を持ち、この学修、生活環境の中で、自らを精一杯、磨き上げてください」と述べた。また、吉田謙一郎獨協学園理事長は「大学生活において見聞を広め、教養を深め、知識を涵養し、幅広い視野と高い視点を持って将来を見極める力を養って下さい。それが皆さんのこれからの成長の源になります」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館からは、イナ・レーペル大使閣下より、祝辞が寄せられ、ドイツ語学科のM. ラインデル准教授が代読した。

式典終了後、新入生は東棟で学生証の交付を受けた。また学生センター1階には、クラブ・サークルの勧誘チラシが置かれ、新入生は各々が興味のある団体のチラシを取っていた。



式辞を述べる山路学長



立て看板は今年も撮影スポットに



晴れやかな表情で帰途につく新入生

2021年度入学者は次のとおり。

**学部** ドイツ語学科:139名、英語学科:279名、フランス語学科:112名、交流文化学科:99名、言語文化学科:174名、経済学科:331名、経営学科:338名、国際環境経済学科:129名、法律学科:226名、国際関係法学科:91名、総合政策学科:81名 計1999名

**大学院** 外国語学研究科:2名、経済学研究科:1名 合計3名



真剣な表情で式典に臨む新2年生たち



クラスメイトに直接会うのが初めてという学生も多かった

## 約1年越しの開催 2020年度入学式を挙行

3月30日、新2年生を対象とした2020年度入学式を挙行了。

この入学式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、やむを得ず中止した2020年4月1日の入学式を、時期を替えて開催したもの。本学では入学式を、学生が獨協大学の一員となることを意識するための重要な節目と位置づけており、中止決定後も、2020年度中の開催を模索し続けてきた。このたび、約1年を経て入学式実施となった。

本学は例年、全ての新入生が一堂に会して入学式を実施していたが、今回は席の間隔を空け、午前と午後に分けて実施した。

式典で、山路朝彦学長は「あらためまして、ご入学おめでとうございます。より良い世界を構想し、そこに至る道筋をつけるのが学術や学問であり、大学です。皆さんも教育・研究共同体の一員として、私達と共に考え、学び続けていきましょう」と式辞を述べた。吉田謙一郎獨協学園理事長は「学生時代は勉学に励み、知識を深め、友情に喜びを見出し生涯にわたる友を得る時間にして下さい。月日は瞬間に過ぎていきます。一日一日を大切に、実りある学生生活を送ってください」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館からは、イナ・レーペル大使閣下より祝辞が寄せられ、ドイツ語学科のM. ラインデル准教授が代読した。

プロムナードには学生会団体が作成した歓迎のポスターが並べられたほか、学生会団体の部員が職員とともに案内誘導係として新2年生を迎え入れるなど、大学全体が祝福ムードに包まれた。